

平成 28 年度 経営発達支援事業評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 陸別町商工会 経営改善普及事業推進委員会
2. 開催日時 平成 29 年 3 月 24 日 (金) 午後 7 時～午後 8 時 20 分
3. 開催場所 陸別町商工会館
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 陸別町産業振興課 課長 副島 俊樹
 - (2) 商工会 経営改善普及事業推進委員会
委員長 星 典伸・同委員 金子信行・野尻テイ子・山田雄介
事務局長 杉本武勝・経営指導員 佐久間宣明・補助員 市瀬智祥
5. 内容

(1) 平成 28 年度経営発達支援計画（伴走型支援推進事業）報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。あわせて別紙評価シートに基づき、平成28年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況及び経営発達支援計画の事業実績・評価等の結果について説明を行い、全委員より承認された。

(2) 平成 29 年度経営発達支援計画（伴走型支援推進事業）事業計画及び予算について

事務局は資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成 29 年度の事業実施を計画している旨の説明を行い、全委員より承認された。

(3) 事業の評価・見直し結果の内容について

上記(1)において説明した別紙評価シートの内容について事務局は意見等を求めたが、特に指摘事項等はなかった。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、午後 8 時 20 分に評価委員会を閉会した。

経営発達支援事業評価シート【平成28年度版】

I. 経営発達支援事業の内容

評価A: 目標達成率80~100%、B: 目標達成率60~80%未満、C: 目標達成率30~60%未満、D: 30%未満、E: 実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値(過年度は実績値)					本年度実績		実施内容/効果や課題/今後の対応等	次年度 補助金 活用予定	
		H28	H29	H30	H31	H32	実績値	自己評価			
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】											
経済動向情報収集分析	○	随時	随時	随時	随時	随時	1	B	実施内容	補助金を活用し外部企業に委託して、金融機関等が発行している既存の刊行物やインターネットから経済動向に関する情報収集、有識者へのヒアリングにより時系列に全国・全道・十勝の規模別の景気動向について整理分析してまとめた。	○
									効果や課題	調査結果を巡回訪問等で各事業所に提供したことで、事業者が全国的な経済の状況を把握することができた。一方で、経済状況は把握できたものの、事業者が事業計画策定等に活用できる効果的な資料とするまで内容を精査できなかった。	
									今後の対応等	小規模事業者が戦略的な事業計画の策定に向けて活用しやすい基礎資料とするため、調査項目や分析内容など再度検討していかなければならない。	
商業者意識調査	○	1	1	1	1	1	6	B	実施内容	町内から業種毎(小売業・飲食業・理容業・宿泊業・建設業)に7事業者を選定して、10月から毎月定期的に巡回等により調査票を用いて景気ウォッチャー調査を実施した。	○
									効果や課題	事業計画策定等支援を行う際の指標として、各業種の時期や季節間における景気動向を把握することができたが、調査結果内容の分析まで行えず内部資料にとどまっている。	
									今後の対応等	長期的スパンで町内各業種毎の景気動向を把握して、外部資料として有効活用していくために調査結果内容を掘り下げて整理分析していく必要がある。	
歩行者通行量調査	-	5	5	5	5	5	3	B	実施内容	旧駅前中心市街地の商工会が運営するコミュニティー複合施設前の歩道において、年3回平日の時間別に歩行者通行量の調査を行った。	
									効果や課題	空き店舗だった平成24年より継続して本調査を行っているが、上記施設による中心市街地へのマグネット効果を把握することができた。	
									今後の対応等	引き続き本調査を実施し、事業者支援の基礎資料として活用していく。	
2. 経営状況の分析に関すること【指針①】											
経営分析セミナー (個別相談会)開催	○	7	7	7	7	7	5	B	実施内容	補助金を活用し中小企業診断士を講師にセミナー及び個別相談会を計5回開催した。(出席者延べ23名)	
									効果や課題	出席者からは自社分析の必要性を知るきっかけになったという意見が多かったが、自ら経営分析を行える能力を身につけるまでには至っていない。	
									今後の対応等	集団支援とあわせて定期的な巡回訪問等により個別に継続した支援フォローアップを行い、一件でも多くの事業者が自ら経営分析を行える能力の習得を目指したい。	
経営分析件数 (ネットde記帳による分析含む)	-	15	15	15	15	15	29	A	実施内容	ネットde記帳利用者6名に対してはネットde記帳システムの活用、セミナー及び個別相談会参加者23名に対してはSWOT分析により簡易的な経営分析を行った。	○
									効果や課題	まだ簡易的な経営分析ではあるが、経営分析を行った事業者のうち5名が事業計画策定に取り組んだ。	
									今後の対応等	ネットde記帳利用者には、税務申告時にあわせて継続した分析とその他の事業者には、巡回訪問を中心にフォローアップを行うことで一件でも多く自社の経営状況への理解を深めて事業計画の策定に繋げていきたい。	
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】											
システムツールの利用による簡易事業計画策定	-	10	10	10	10	10	0	E	実施内容		
									効果や課題		
									今後の対応等		
事業計画策定セミナー (個別相談会)開催	○	3	3	3	3	3	5	A	実施内容	補助金を活用し中小企業診断士を講師に経営分析とあわせてセミナー及び個別相談会計5回開催した。(出席者延べ23名)	
									効果や課題	専門家からの助言等により、5名(6件)が事業計画の策定に繋がり、ものづくり補助金1件・小規模事業者持続化補助金5件の申請を行った。他1件創業予定者の計画策定支援を行った。	
									今後の対応等	引き続きセミナー(個別相談会)を開催していくことで、小規模事業者の経営分析や事業計画策定に対する意欲喚起を促していきたい。	

経営発達支援事業評価シート【平成28年度版】

I. 経営発達支援事業の内容

評価A: 目標達成率80~100%、B: 目標達成率60~80%未満、C: 目標達成率30~60%未満、D: 30%未満、E: 実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値(過年度は実績値)					本年度実績		実施内容/効果や課題/今後の対応等	次年度 補助金 活用予定	
		H28	H29	H30	H31	H32	実績値	自己評価			
専門家派遣による 計画策定支援 (創業・事業承継支援含む)	-	5	5	5	5	5	7	A	実施内容	補助金を活用し中小企業診断士を講師にセミナー及び個別相談会の開催を通して事業計画策定の支援を行った。	○
									効果や課題	専門家からの助言等により、5名(6件)が事業計画の策定に繋がり、ものづくり補助金1件・小規模事業者持続化補助金5件の申請を行った。他1件創業予定者の計画策定支援を行った。	
									今後の対応等	引き続き専門的な経営課題を抱える小規模事業者については、専門家を活用した中で課題解決策を検討していきたい。	
創業・事業承継セミナー (個別相談会)開催	-	1	1	2	2	2	0	E	実施内容		
									効果や課題		
									今後の対応等		
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事【指針②】											
巡回訪問フォローアップ	-	60	120	180	180	180	17	B	実施内容	事業計画策定に取り組んだ5名の事業者に対して、職員巡回訪問によるフォローアップを計17回行い、事業計画の見直し・改善について行った。	
									効果や課題	支援回数だけを見ると現状の職員数と支援力では目標数達成は困難であるが、個別巡回訪問により一件毎に伴走型の支援を行ったことで相談内容に変化が見られ徐々に事業者との信頼関係が生まれたように感じる。	
									今後の対応等	目標回数を達成することも必要であるが一件一件計画的な巡回訪問を行って、小規模事業者のより効果的な事業実施に繋げていきたい。	
小規模事業者経営発達支援 融資の活用	-	-	-	-	-	-	0	E	実施内容		
									効果や課題		
									今後の対応等		
5. 需要動向調査に関する事【指針③】											
需要動向アンケート調査	○	1	1	1	1	1	2	A	実施内容	8~9月に観光施設等に来場した観光客を対象に動向調査(204件)、1月に町内一般消費者を対象にしたニーズ調査(683件)をそれぞれ実施し、補助金を活用し外部企業に委託して消費需要の動向と商圈分析を行った。	
									効果や課題	町内消費者と来町観光客の消費需要の傾向がわかり、これまでに気付かなかった町内各業種で提供する商品やサービスと観光資源に対する町内外のニーズや満足度を把握することができた。	
									今後の対応等	本調査で得た情報を小規模事業者の事業計画策定支援及び販路開拓支援等に活用していきたい。	
需要動向調査の情報提供	-	4	4	4	4	4	0	E	実施内容		
									効果や課題		
									今後の対応等		
プレミアム商品券の購買状況 のデータ化	-	-	-	-	-	-	1	B	実施内容	7月と11月に年2回発行したプレミアム付商品券の利用状況について、業種別等に整理し利用状況をデータ化してまとめた。	
									効果や課題	データ化したことで業種間等の消費動向を把握することができたが、データを分析した上で資料として公開できる内容まで作成することができなかった。	
									今後の対応等	データから消費動向の特徴などを分析して資料として整備すると共にHPや広報などで事業者へ情報提供していきたい。	

経営発達支援事業評価シート【平成28年度版】

I. 経営発達支援事業の内容

評価A: 目標達成率80~100%、B: 目標達成率60~80%未満、C: 目標達成率30~60%未満、D: 30%未満、E: 実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度補助金活用	目標数値(過年度は実績値)					本年度実績		実施内容/効果や課題/今後の対応等	次年度補助金活用予定
		H28	H29	H30	H31	H32	実績値	自己評価		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】										
物産展・商談会への出展支援	-	2	3	3	3	3	0	E	実施内容	
									効果や課題	
									今後の対応等	
IT(オンラインショップ等)活用支援	-	2	3	3	3	3	0	E	実施内容	
									効果や課題	
									今後の対応等	
交流施設での特産品販売イベント	-	2	5	7	7	7	2	A	実施内容	商工会が運営するコミュニティー複合施設において、7月と9月に2回イベントを開催した。イベント会場内に鹿肉など特産品コーナーを設けてPR及び販売を行った。
									効果や課題	2日間ではあったが延べ1,300名を超える来場者があり特産品の売れ行きも好調で、地元特産品の認知度の向上と新たな需要の掘り起こしに結びついた。
									今後の対応等	引き続き継続してコミュニティー複合施設を通して特産品のPRを行い、販売機会の拡大と販路開拓に繋げていきたい。
小規模事業者持続化補助金等の活用	-	5	7	10	10	10	5	A	実施内容	事業計画策定セミナー及び個別相談会出席者等の中から事業計画書の策定に至った5名(6件)がものづくり・持続化補助金申請を行い、うち5件が採択となった。
									効果や課題	補助金申請者のほとんどが事業計画策定の経験がない中で、聞き取りでは自社の現状とこれからの目標を客観的に見つめる良い機会になったとの声が聞かれた。
									今後の対応等	引き続き補助金等の積極的な周知・活用を通して、一件でも多くの事業計画策定に繋げていきたい。

経営発達支援事業評価シート【平成28年度版】

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

評価A: 目標達成率80~100%、B: 目標達成率60~80%未満、C: 目標達成率30~60%未満、D: 30%未満、E: 実績なし

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値(過年度は実績値)					本年度実績		実施内容/効果や課題/今後の対応等	次年度 補助金 活用有無	
		H28	H29	H30	H31	H32	実績値	自己評価			
特産品開発 ワークショップ開催	-	-	-	-	-	-	1	C	実施内容	専門家及び小規模事業者を交えた特産品開発に関するヒアリング調査を1回開催した。	○
									効果や課題	現状陸別町で特産品の開発・製造を行っている事業者1社で、製造する施設や人員不足などの要因により生産・販売体制が十分に整備されていない。	
									今後の対応等	特産品を食料品など限定せず、現状の生産・販売体制等の背景を踏まえて、多角的に特産品開発の可能性について小規模事業者を交えて検討していきたい。	
鉄道クーポン券発行	-	-	-	-	-	-	1	A	実施内容	りくべつ鉄道利用者に対し4月から10月までの期間、町内飲食店12店の割引クーポン券を発行した。	
									効果や課題	利用実績から見て、主に観光客が町内で新たな消費行動を起こすきっかけになっている。	
									今後の対応等	クーポン利用状況結果から昼夜の消費行動等を分析して、小規模事業者の売上拡大に繋げるべく事業を検討していく。	
プレミアム商品券発行	-	-	-	-	-	-	2	B	実施内容	7月と11月の2回あわせて町内加盟店74店舗で利用できる48,000,000円分プレミアム商品券を発行した。	
									効果や課題	地域内の消費喚起を促し小規模事業者の販売機会の拡大に一定の効果はあったが、利用データを検証したところ業種や事業者間で利用率に大きな偏りが見られ、新たな消費行動を生み出す効果は少なかった。	
									今後の対応等	地域全体に消費循環を促す仕掛けや取り組みを検討していく必要である。	
販売促進事業への 補助金支援	-	-	-	-	-	-	3	B	実施内容	町内商店組織や料飲店組合が行う抽選会等の販売促進事業(3回)に対して、計600,000円の事業経費補助等による支援を行った。	
									効果や課題	プレミアム商品券の発行にあわせて事業を行うなど、相乗効果により販売拡大の効果は一定程度あった。	
									今後の対応等	今後は事業の効果を検証し、事業者と事業課題を共有した中で事業内容について協議検討していきたい。	
多目的複合施設賑わい 創出イベント開催	-	-	-	-	-	-	3	A	実施内容	商工会が運営するコミュニティー複合施設において、3回賑わい創出イベントを開催した。	
									効果や課題	来場者への聞き取りでは普段中心市街地へ足を運ばない来場者も多くおり(特に高齢者)、中心市街地へ立ち寄る機会作りとして効果があった。	
									今後の対応等	イベント会場だけの賑わいだけで完結させず、各個店と連携してイベントを通じた町内消費機会の拡大に繋がる取り組みを検討していきたい。	

経営発達支援事業評価シート【平成28年度版】

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値(過年度は実績値)					本年度実績		実施内容／効果や課題／今後の対応等	次年度 補助金 活用有無	
		H28	H29	H30	H31	H32	実績値	自己評価			
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事											
関係機関、他商工会との情報交換	-	6	6	6	6	6	14	A	実施内容	事務局長から記帳指導職員まで日本政策金融公庫との懇談会(1回)、道商工連等主催研修会(12回)、池北三町商工会職員研修会(1回)を通して、他町の支援取組事例等についての情報交換を行った。	○
									効果や課題	職種によって情報の内容等に差異はあったが各職員が意識的に支援ノウハウを蓄積していくことに繋がった。一方で個々が得た情報を職員間で十分に共有することができず、情報が限定的なものになってしまった。	
									今後の対応等	各職員が情報交換の場で得た情報を限定的なものにせず、密に職員報告会等を行い共有を図っていききたい。	
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事											
各種研修への派遣、WEB研修の受講	-	-	-	-	-	-	2	A	実施内容	指導員が5回、補助員が2回、記帳指導職員が2回、道商工連及び中小企業基盤整備機構等主催の研修会に参加した。うち専門研修として、税務相談対応力向上研修(法人税)及び小規模事業者支援研修(地域支援型)に参加した。	
									効果や課題	これまでに実務経験が乏しいテーマ内容の研修会への参加により、多岐にわたる小規模事業者の支援ニーズへの対応力向上に結びつく。指導員だけでなく、補助員以下の職員も積極的な研修会等への派遣を行い、職種や経験年数で差異が生じない支援力の底上げを図っていく必要がある。	
									今後の対応等	引き続き、指導員以下の職員全員が小規模事業者支援能力の向上に結びつく専門的研修会への参加及びWEB研修を受講していききたい。	
事業計画策定支援状況報告会開催	-	-	-	-	-	-	1	C	実施内容	職員間で支援推進状況についての報告会1回を行った。	
									効果や課題	支援状況の報告にとどまり、支援課題に対する解決策の検討や他町の支援事例など情報を職員間で十分に共有することができなかった。	
									今後の対応等	2～3ヶ月毎の定期に報告会を開催して職員間で連携を密にとり情報の共有を図って、組織全体の支援能力向上に繋げていききたい。	
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事											
経営改善普及事業推進委員会による事業評価・見直し	-	2	2	2	2	2	3	A	実施内容	委員会(3回開催)の中で年間事業計画の内容説明及び事業の進捗状況の報告を行ったのと同時に、事業内容の改善点等について委員及び外部特別委員からの提言により、事業の見直し改善を図った。	
									効果や課題	委員会においての評価・見直し機能が働いたことで、職員間だけで気づけなかった事業の改善点を洗い出すことができ、スムーズな事業の推進に結びついた。	
									今後の対応等	今後も委員会で定期的な事業評価・見直しを行い、円滑な事業の推進に繋げていく。	